

「資産運用業大会」大場会長挨拶

日本投資顧問業協会会長の大場でございます。本日は、ご多忙のところ、ご出席頂き誠にありがとうございます。

開会にあたり、主催者を代表して一言ご挨拶申し上げます。

投資信託協会と日本投資顧問業協会は、資産運用業の社会的使命や果たすべき役割を再確認し、あわせて国民の皆様のご理解を深めて頂く機会とするため、2020年から「資産運用業フォーラム」を開催しております。

本年度は、新たに2部構成で開催することとし、第1部を業界初の試みである「資産運用業大会」として、資産運用業に関係する方々が一堂に会する形で開催することと致しました。

本日の資産運用業大会は、鈴木金融担当大臣からビデオメッセージを頂くほか、中島金融庁長官から「資産運用業の高度化に向けて」と題するご講演、また、経済界を代表して日立製作所の東原会長から「上場企業から見た資産運用業界への期待」というテーマでご講演頂くこととなっております。

なお、本大会の出席者は、両協会の会員代表者のほか、資産運用会社を子会社に持つ国内大手金融グループのトップの方々にもご出席頂いております。これは、金融グループ内における資産運用会社の位置づけの明確化、業務運営の独立性の確保、顧客の最善の利益に適った商品の組成などについて、金融グループトップの方々とも認識を共有したいとの思いに基づくものです。さらに、本日の大会には、金融庁幹部、大手アセットオーナー幹部の皆様など、幅広く資産運用業界に関係するの方々にもご出席頂いております。

第2部は、オンライン配信による「パネルディスカッション」としており、パネルディスカッションでは、外部の有識者にもご参加頂きながら、資産運用会社の代表者が業界の課題などについて議論する内容となっており、非常に有意義な議論が行われております。どなたでもご視聴頂ける形で、本日から配信されますので、こちら是非ご視聴頂きたいと存じます。

さて、我が国の資産運用会社が、個人向けの投資信託や年金基金等の一任運用といった形で運用を受託している資産は、今や700兆円を超える規模となっております。

す。これは、我が国GDPや金融機関の融資総額を超える規模であり、資産運用業界は、社会に対して大きな影響力を持つ存在となっております。

また、資産運用会社は、投資先企業の価値向上を図り、その収益を家計にもたらすという好循環社会を実現する上で、極めて重要な役割を担っており、政府の「資産所得倍増プラン」の推進役としても大いに期待されています。

一方、資産運用業界の課題を率直に申し上げますと、大手運用会社の多くが証券会社や銀行、保険会社の子会社として設立され、他の業態に比べ歴史が浅いといった経緯もあって、国民の皆様から資産運用会社の役割が必ずしも認知されておらず、また、資産運用会社自身においても、業務運営の独立性の確保やファンドガバナンスの確立、運用専門人材の育成、また近年は、実効性あるスチュワードシップ活動の実施、ESG投資の推進に向けた体制の整備、金融教育への貢献など、様々な課題を抱えている現状にあります。

こうした課題に正面から向き合い、資産運用会社が自らに課せられた社会的使命を十分果たし、広く社会に認知される存在となるには、資産運用業界に身を置く一人

ひとりが相当な努力を払っていく必要があります。

こうした課題への取組みの一助とするため、両協会では、2020年に開催した第1回「資産運用業フォーラム」において、両協会会員の総意として「資産運用業宣言2020」を採択し、資産運用会社の「社会的使命」と「目指すべき姿」を表明致しました。両協会の会員においては、この宣言の実現に向け、創意工夫しながら、国民の安定的な資産形成の促進や投資先企業の持続的な価値の向上に取り組んでいるところですが、更に前に進め、実感を伴う資産形成に繋げて頂くことを期待しています。

最後になりますが、主催者を代表して、一言メッセージを申し上げたいと思います。

近年、資産運用業に対しては、数少ない成長分野の一つとして、様々な形で注目されるようになっております。一方で、金融庁の「資産運用業高度化プログレスレポート」などにおいて、先程申し上げたような様々な課題も指摘されております。

個々の指摘を真摯に受け止め、それぞれの課題に全力で取り組んでいくことは勿論必要ではありますが、本日までご出席の皆様におかれましては、これからの我が国の金

融の姿はどうあるべきか、資産運用会社の存在意義は何か、ということについても突き詰めて考えて頂きたいと思います。

国民の資産形成は、人生 100 年時代の国家戦略でもあり、これからの金融業は、国民の資産形成に貢献する金融モデルに転換していくことがより強く求められます。資産運用会社は、新しい金融モデルにおける中核的な存在であり、投資家目線に立って、「国民の資産形成の促進」、「企業価値向上への貢献」、「顧客利益の最優先」という 3 つの視点をもって業務を進めていくことがより重要であります。

資産運用業に携わる皆様におかれては、新たな金融モデルを自ら切り拓くという気概をもって、国民の資産形成を前に進めて頂きますようお願い申し上げます。

本日の大会がご出席の皆様にとって有意義なものとなることを祈念致しまして、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

以 上